



<当会のホームページ>

<https://www.furusatotaishi.com>

■ 本会のシンボルマークは、大使同士の情報交換及び、その委嘱者との相互交流を主眼に図案化。4つのモチーフからなり、山（緑色／地方・故郷・自然）と矩形（青色／都会・テクノロジー）と円及び輪（黄、橙／人・情報・ネットワーク）を表現。

## HEAD LINE

【1面】

植物園について考える

【2～3面】

「らんまん」のモデル「牧野富太郎」博士の生涯とふるさと高知

高知県理事・東京事務所長

——前田 和彦

【4面】

陽春交流会2023を開催

【5～6面】

サンゴ礁が創り出した奇跡の島 喜界島

喜界島大使館館長 ——友岡 照美

【7面】

全国の方に知ってほしい、魅力いっぱい新潟県

「越後ふるさと大使」応援団

——大場 いぶき

【8面】

2022年度収支報告書、2023年度収支予算案  
令和4年度活動報告、令和5年度活動方針

【9面】

旅を詠む(十)歌詠み人 鈿谷君子の旅紀行

——鈿谷 君子

全国大会2023のご案内

新会員のひと言

——小川 浩史

【10～11面】

小石川後楽園を含む大名庭園を世界遺産に(その1)

小石川後楽園庭園保存会 理事長

——本多 忠夫

【11面】

新会員のひと言

——上野 さゆり

【12面】

事務局より

全国ふるさと大使連絡会議の概要

編集後記 他

# 植物園について考える

英連邦 (commonwealth) は、かつてイギリスの植民地だった国々から構成されているが、その多くがその地の個性を生かした植物園を持っている。

例えば

- ・大航海時代に活躍したキャプテンクックの家のあるメルボルンの植物園
- ・蘭の種類の高さや品種改造で有名なシンガポールの植物園
- ・温室ならぬ冷室で寒帯の植物や高山植物を育てているクアラルンプールの植物園
- ……といった具合である。

これは、「種を制する者は世界を制す」というイギリスの政治哲学に由来するもので、大英帝国華やかなりし時代に、その植民地に植物園を設置していった名残りなのである。

勿論、本国のイギリスには世界最大の植物資料を有する高名な王立植物園 (Royal Botanic Garden) があり、貴族の邸宅はもとより個人の家庭にもバラを主体にパーゴラ、噴水、アーチなどをシンメトリックに配したイングリッシュガーデンと呼ばれる庭があることもよく知られている。

さらに、各地の庭に来る野鳥の数を毎年数えてチェックしたり、ひまわりの種にフィボナッチ数列が現れるかを数えたりする市民科学者の活動も盛んで、自然環境を保護するためのトラスト制度もイギリスが発祥である。

ことほど左様に植物に戦略的意義を認め、愛しているイギリスなのに、意外なことに、その植生は単調で貧弱である。というのも、緯度が高く、地味が痩せていて多彩な植物の育成に向く気候と地味を有していないからである。逆説的な言い方をすれば、自国の植生に恵まれていないからこそ、世界の多彩な草花にあこがれて、世界各地に出かけて収集し、植物園を創っていったのである。ちなみに、シンガポールを発見したラッフルズ卿も植物学者で、インドネシアで見つけた世界最大の食虫植物に自分の名前の一部を冠したラフレシアと名付けるなど植物学者としての足跡も残している。

一方、わが国は南北に長く、地形の起伏にも恵まれているため、亜熱帯から亜寒帯まで、高山から浜辺までの多彩な植物に恵まれ、さらに温帯モンスーン気候による豊富な日照時間と降雨、火山活動に伴う豊富な養分を含んだ海底の隆起・沈降による恵まれた地味など植物の生育に必要な条件が整っているため多種多様な植物に恵まれている。また、庭の形態も

- ・水を生かした小堀遠州流の回遊式庭園
- ・周囲の植生を借景として、岩と砂だけで構成された菴安寺などの禅寺の庭
- ・兼六園、後楽園、偕楽園、六義園、天赦園などの城下町の庭園
- ・京都の町家の坪庭
- ・小布施の住民の庭を開放して観光客にも自由に見てもらおうオープンな庭
- ・箱庭、盆栽 ……

など多種多様である。

ところが、植物園となるとイギリスのBotanical Gardenの影響があるからか、単調で面白みに欠けるように思われる。

今、NHKの朝の連続ドラマで評判で、本紙2、3ページでも紹介されている植物学の牧野富太郎博士は、日本独自の植物を当時の学者が西洋に送って学名を付けてもらっていたのを改め、日本産の植物種に日本風の学名を付けて新種発表を行ったが、その数は1,500種に及んだという。

そのひそみに倣えば、日本の庭の趣向を取り入れた遊び心に溢れた日本ならではの植物園があってもいいように思われるが如何でしょうか。

代表 平谷 英明

# 「らんまん」のモデル“牧野富太郎”博士の 生涯とふるさと高知

高知県理事・東京事務所長 前田 和彦



94歳の生涯を植物研究に捧げ、日本の植物分類学者の父と言われた牧野富太郎。

この郷土が誇る世界的研究者をモデルにした連続テレビ小説「らんまん」が、4月からスタートしました。

今、高知県では、この「らんまん」の放送を追い風にして、牧野博士のゆかりの地を中心に  
多くの人で賑い、大きな盛り上がりを見せております。

そこで、注目を浴びている牧野博士の生涯や人物像をはじめ、  
博士ゆかりのスポットや関連した高知県内のイベントなどについて、ご紹介いたします。

## 牧野富太郎ってこんな人

土佐国の高岡郡佐川村（現在佐川町）で酒屋と雑貨商を営む富裕な商家として生まれます。父、母、祖父が相次いで亡くなったため、祖母によって育てられます。佐川の名教館（めいこうかん）で高度の教育を受け、その後入学した小学校の授業に満足できず2年で自主退学。土佐の豊かな自然の中で草木を友とし植物採集をしながら過ごし、独学で植物の知識を学びました。

22歳で上京し、東京大学理学部植物教室に出入りが許可されて以来、自らを「草木の精」と思い、生涯を通じて植物分類学の研究に没頭します。



【高知県立牧野植物園提供】

### フィールドワークで植物調査に奔走!!

交通機関が発達していなかった時代に、日本全国を駆け巡って採集調査を精力的に行い、“ヤマトグサ”や“ムジナモ”といった新種や新品種など1500種類以上の植物を発見し、命名しました。また、生涯を通じて収集した標本は40万枚以上と言われ、蔵書は約4万5千冊を数えます。

### 日本の植物分類学を世界に知らしめる!!

牧野博士が手がけた植物図版である「日本植物志図篇」や「大日本植物志」をきっかけに、日本の植物学が、世界中から注目されます。日本の植物を日本人の手で命名したのは牧野博士が初めてだと言われています。また、78歳で刊行した「牧野日本植物図鑑」は、牧野研究の集大成で、現在も専門家から一般の方々まで広く支持されています。

### 植物学の普及・教育に尽力!!

一般向けの採取指導や講習などにより植物知識の普及活動に尽力し、全国規模で植物の研究者や愛好家の育成などにも努めました。植物を知ることの大切さを子どもから大人まで広く伝え、94年の生涯を閉じました。「世の中に雑草という草はない」という言葉を残した牧野博士の生涯は、植物への愛情で満ち溢れていました。

### 豪快で天真爛漫な人柄!!

植物図の綿密なスケッチのイメージからは、想像がつかないほど豪快で天真爛漫な性格で、実家の財産も使い果たし、研究のためには多額の借金をしても気にしなかったようです。何度も窮地に追い込まれたが、その都度、救ってくれる人が現れています。植物研究の功績だけでなく、多くの人々に愛された人柄も魅力の1つです。

## 牧野博士ゆかりの地



### 高知県立「牧野植物園」

牧野博士の功績をたたえるため、博士が逝去した翌年（1958年）に「植物園を造るなら、ここがええ」という一言により高知市五台山に開園。約8haの広大な敷地を誇る植物園では四季折々の3000種類以上の草花など、多種多様な植物が楽しめます。

園内の牧野富太郎記念館は、本館と展示館で構成され、本館では、図書室と牧野博士の蔵書や遺品など約6万点を収めている牧野文庫が観覧できます。なお、今年2月に、デジタルサイネージや観光案内マップ、パンフレットなどにより、観光情報を発信するコーナーも開設されました。さらに、5月には、南園にレストランとお土産物売り場を併設した「新研究棟」もオープンしました。



【高知県立牧野植物園提供】

### ふるさと 佐川町

牧野博士の生誕地である「佐川町」には、博士ゆかりのスポットが多くあります。

約420種の山野草や花が植栽されている『牧野公園』は、“バイカオウレン”など博士にゆかりが深い花木をはじめ多種多様な植物が観察できます。桜の名所としても有名で、春には約30種の桜が咲き誇ります。

『牧野富太郎ふるさと館』は、牧野博士の生家跡に立つ展示館。生家の一部を再現した建物の中には、生家模型をはじめ、牧野博士が書いた手紙などの遺品や植物画の複製などが展示されています。また、牧野博士を輩出した藩校を再現した『名教館』は、“文教のまち佐川”のシンボリックな存在であり、歴史的街並み地区の中心に位置し観光客を迎えています。

### 横倉山自然の森博物館

太古の地層をもつ越知町の横倉山は、1300種類の草花が見られることから、植物の宝庫として知られ、牧野博士も頻繁にこの地を訪れた。その麓にある「自然の森博物館」は、牧野博士と横倉山の関係を知ることができる博物館。牧野博士のフィールドワークの記録や発見した植物などを紹介しています。

### 首都圏にある牧野博士ゆかりのスポット

#### 練馬区立「牧野記念庭園」（東京都練馬区）

牧野博士が、晩年の30余年を過ごした自宅や庭の跡地を整備した公園。博士にゆかりがある草木や花々など300種類以上の植物が生育されている。園内にある記念館には、生前、博士が愛用していた道具や著作のほか、書斎を再現した展示も楽しめます。

#### 小石川植物園（東京都文京区）

「小石川植物園」の愛称で親しまれている東京大学大学院理学系研究科附属植物園。牧野博士は植物園でも研究を行い、助手から講師となり77歳まで務めあげました。

#### 東京都立大学牧野標本館（東京都八王子市）

牧野博士が初代の東京都名誉都民であったことで、遺族が所有していた未整理の標本を大学に寄贈し設立された研究施設。博士が長年かけて収集した膨大な標本を中心に、国内外の数々の標本と合わせ約50万点が収蔵されています。

## 高知の観光イベント

### 「牧野博士の新休日」



「らんまん」の舞台である高知では、今回の放送に合わせて、令和5年3月25日から令和6年3月31日までの期間中、『牧野博士の新休日』と銘打ち、牧野植物園や佐川町など、県内の牧野博士ゆかりの場所を中心に、魅力溢れる自然や四季折々の草花などを楽しむことができる観光博覧会を開催しております。

地元のガイドとともに草花や地域を楽しめるガイドツアーのほか、草花観察ウォーキングやトレッキングなどの散策イベントなど、地域の特徴を活かし、趣向を凝らした盛りだくさんの催しが用意されています。また、海と山に囲まれた高知県はグルメの宝庫でもあります。高知の東部・中部・西部ごとに特徴ある食材の井料理を提供する「土佐井王国」など、高知ならではの多種多様な料理が堪能できる食のイベントも同時に開催しています。

高知県は、手つかずの自然が多く残っており、いわば「歩ける植物図鑑」です。牧野博士が愛した草花フィールドをはじめ、自然、食、歴史などの魅力を存分に体感することができます。これを機会に是非、高知県にお越しください。



博覧会オープニング くす玉

## 陽春交流会2023を開催

今春コロナ禍も漸く治まってきたため、行動規制が廃止され、マスク着用も個人の選択に委ねられるようになるなど従来の日常がもどり始めました。

その機会を捉えて、4月14日(金)、小石川後楽園の涵徳亭で陽春交流会が開催されました。

開催に先立って、希望者によるイベントとして小石川後楽園の見学会が行われました。奢莪(しゃが)のアヤメに似て可憐で、白色に紫斑がある上品な花を見ながら、琵琶湖を模した池を巡るようにして、円月橋、白糸の滝、藤だな、梅林、鷹の塚、遊行柳を順に巡りました。このうち、遊行柳は、西行の「道のべに清水流るる柳かげしばしとてこそ立ちどまりつれ」の歌に由来するもので、実物は那須の芦野の里にあるのですが、それを模した柳と石碑が設置されています。

丁度、芽吹き頃で、青葉若葉の緑のグラデーションが目まぶしい程でした。

その後、涵徳亭の大広間と円月の間とで交流会が開催されました。

まず、友岡照美会員・喜界島大使館館長から「サンゴ礁が創り出した 奇跡の島 喜界島」と題して、ツアーガイド風に喜界島の見どころが分かりやすく紹介されました。奄美空港から喜界島空港までわずか7分のフライトという説明に驚いたり、コーラルアイランド(珊瑚礁の島)の美しさなどを満喫したりの30分でした。(詳細は5、6ページ)

次いで、大場いぶき会員から「花火など長岡の風物詩」と題して、佐渡島の金山遺跡、長岡の花火の様子が紹介されました。花



火の最後に現れたフェニックスが何とも印象的でした。また、お友達で歌手のアップーさんがみんなの手拍子で歌われた地元の民謡で会場は大いに盛り上がりました。(詳細は7ページ)。

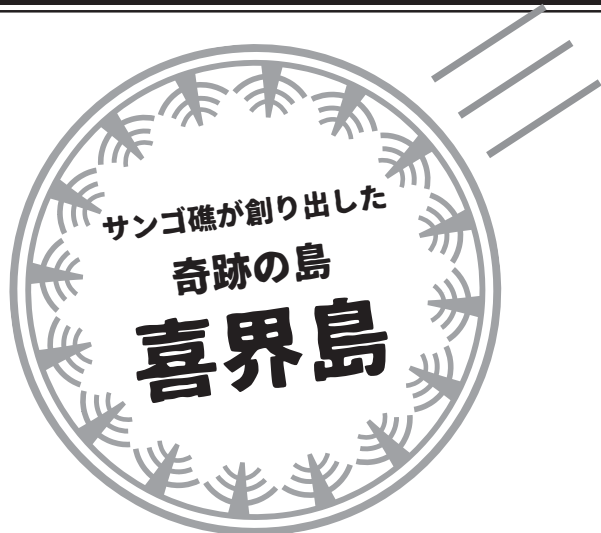
また、扇谷ちさと会員・ドリーム夜さ来い祭りグローバル振興財団理事長が4月に総務省の地域力創造アドバイザーに選任された旨の紹介が行われました。東京都在住者からは唯一の選任で、その卓抜した能力に対する総務省の期待の程が伺えます。扇谷さんから今後とも地域おこしに尽力したいとの挨拶がありました。

その後、懇親交流に移り、筍やフキの煮物、桜海老など陽春らしい食べ物を味わい、また、差し入れのサーターアンダギー、新潟のお菓子、フルーツパーラー高野のチョコレート、水戸の百年梅酒、奄美大島の黒糖焼酎なども嗜みながら、情報交換、歓談が行われ、新規の参加者の自己紹介、集合写真を撮影してお開きとなりました。

恒例の名刺屏風へのふるさと大使名刺などの貼付も慣れた手つきで行われました。

また、この陽春交流会に参加された3名の方が新たに本連絡会議に入会されたことも大きな喜びでした。





喜界島は周囲48キロ、人口7000人の隆起サンゴの島で今でも年に2mm隆起しております。そのスピードは世界でも珍しく日本の領土を拡大しております。日本の役に立っています。喜界島へのアクセスは羽田から鹿児島空港経由で喜界島へ行きます。喜界島にはちゃんと空港がありますからね(笑)又は、奄美大島経由で喜界空港へ行くことも可能です。時間はかかりますがおススメは鹿児島島からフェリーで行く方法です。夕方フェリーに乗り込み船の中では、ビール片手に波や星を見ながら楽しんで下さい。

今回の旅は私の住む千葉県から奄美大島へ向かいます。奄美空港からは滑走路を歩いて喜界島への飛行機へ乗り込みます。他ではあまり体験できない貴重な体験です。喜界島へは15分、離陸から着陸までは7分です。離陸するとすぐにアナウンスで「この飛行機は着陸態勢に入りました」。遊園地のアトラクションみたいです。海までの距離も近い!スリル満点です。

**うもーれ!喜界島。**ようこそ喜界島へという意味です。コンビニサイズの小さな空港が皆様をお迎え致します。

喜界空港でレンタカーを借りて15分。本日の宿はこちら**Villa Kikai**。目の前はプライベートビーチが広がります。このままゆっくりしたいところですが、早速喜界島観光へ出かけましょう。

まず始めは、**喜界島が誇るスギラビーチ!** どうでしょう!もう説明は要りませんね。ここでもゆっくりしたいけど次に行きますよ。

次は、**手久津久集落にある巨大ガジュマル**。樹齢は

約100年。枝張りの直径は42mと圧巻の大きさです。ガジュマルの花言葉は「沢山の幸せ」「幸せを呼ぶ木」「健康」です。幹に触ってパワーを頂いてきましょう!

次は、**手久津久の海**です。私の母校の中学校にはプールが無かったのでこの入り江がプール代わりとして校外授業で使っていました。

次は、私の家がある**上嘉鉄集落の海**です。

サンゴ礁がゴツゴツしているので、長靴、運動靴で無いと歩けません。

間違えてもサンダルはダメですよ!(笑)

観光地では無く自然の厳しさが体験できます。

それから**花好きの方にオススメスポット!**3月から4月にかけて島百合が咲き乱れ、関東ではお花屋さん並ぶユーフォルビアに似た名前も知らないこの魅力溢れる花々を見るだけでもツアーが組めそうです。

1日目の観光はここまで。

さあーそろそろ1日目の夕食はこちら!!

### 天晴あっぱれ

こちらのオススメは

### 夜光貝のお刺身と島のお刺身

それから**1株食べると1日寿命が延びると言われているサケナ**

この植物は海辺に沢山自生している薬草でセリ科の仲間です。天ぷらにして頂くともとても美味しいです。

### 二次会はライブハウス サバニへ

歩いて5分!

こちらでは島唄を聞いたり太鼓を叩かせて貰ったり皆で踊ったり満喫出来るのは間違いありません。

翌朝目覚めたらプライベートビーチでゆっくりするもよし。また宿泊施設のすぐ隣にトトロの道があるのです。

ここは実際に集落の方々の昔から使われていた道だそうです。くぐって行くと海!とても素敵な場所です。

今日は昨日とは反対方向へ向かいます。

**喜界島が誇るサトウキビ畑の真ん中を走る1本道2.5キロ続いています!**かっこいいですね!このスポットでは、島のオーバー達もジャンプ!皆でジャンプしてパチリ。

次は、1本道から車で5分!それはそうですよ。周囲が48キロしかないですから(笑)

ここは喜界島で一番高い山?丘?いやいや山です。標高200m。展望台からは、雄大な眺望がひらけエメラルドグリーン。のどかな集落が見渡せます。

お昼ご飯は、サトウキビ畑の真ん中にある、**川嶺集落の茶屋さん**。

ここでは**山羊料理がオススメ**(笑)

### 山の上から下りて来たら阿伝集落

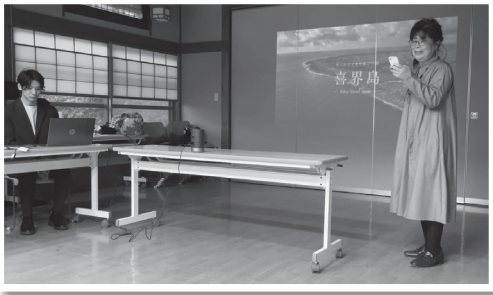
ここにはサンゴで出来た石垣が綺麗に残っています。

喜界島にはハブもいませんので、ハブの住家になる心配がありませんね!

喜界島にはハブがないのも魅力の一つですよ。



ガジュマルの木の案内



島全景の説明

### 次は早町集落

こちらには**サンゴ礁研究所**があります。

隆起サンゴ礁の島ならではの研究所となっております。

ここで  
お知らせが  
あります

**喜界高校へ通いながらサンゴ留学生として学ぶ事も出来ます。高校3年間で自然豊かな喜界島で過ごす事は一生の宝になると思います。**

みなさんのお子さん、お孫さん、ご近所のお子さん紹介してください！

### 次は喜界島のハワイビーチへ

ここは実際にハワイに行ったウジー！（おじさん）が喜界島の海もハワイに負けてないくらい綺麗なので名付けたとかいないとか（笑）小さくてサンゴ礁ゴツゴツですが透明度は抜群ですね！

知らない間に看板が新しくなっている！凄いですね喜界島役場さん！

### 次は小野津の漁港

この漁港は綺麗なのです。ここで喜界島の魚の情報を！

喜界島で捕れる魚には、熱帯魚の様に色鮮やかな魚も数多くあります。

私から見れば美味しそうに見えますが、都会の方が見れば「この魚食べるの？ ええっ！」って言われて、これまた驚いた記憶があります（笑）

喜界島では漁業権がありません（笑）

いや、ないみたいなのです。島民であれば好きなだけ釣りをして貝を取り、青のりを取り、夜光貝を取っても叱られません。きっと販売したらダメですね（笑）

ウチの父は夕方に小さな入江に網をかけて朝早く引き上げに行くと伊勢海老やら大きな魚が沢山掛かっていました。

朝から伊勢海老のお味噌汁ということが何度もあり、その度にこの伊勢海老は都会に行ったら違う食べ方があるのでは？と、子供心に思っていました。

そろそろお土産を買いに行きましょう。

**お土産といたら吉川お土産センター。**皆大好き「黒糖焼酎」

それからやっぱり黒糖&ザラメ。喜界島のザラメは世界一美味しいと思います。それは、隆起サンゴ礁の島で

育ったサトウキビ畑からのザラメだからです。生成されていない雑味こそが旨み成分なのですよ！

それから、**南国と言ったらフルーツ**も沢山。

喜界島マンゴー！このマンゴーとても美味しいですよ！

これは、パパイヤ

喜界島のパパイヤは野生化しています。

パパイヤは昔からお漬物にして食べますが、フルーツとして、また、お野菜として、食べる習慣はありませんので、鳥達のエサになっています。

これは、たわわに実ったシーク

これまた消費し切れてないように思えます。

島には、「クニハー」「フスー」「けらじみかん」「タンカン」と沢山の種類のみかんがなっています。

また、忘れていけないのが、島バナナ！モンキーバナナの他にも、こんなに大きく育つ3尺バナナも良く見かけます。

2日目の観光はここまで

2日目の夜のご飯はこちら、**十兵衛さん**

こちらでは、島料理を頂きながら島の方達と交流を楽しむのも素敵な思い出になる事、間違いなしです。

### 喜界島最後の夜

最高のお楽しみがあります。それは満点の星空です。

天の川と魔女の木に会いに行きましょう！

行いが良ければ、流れ星もすぐに見られるかも（笑）

楽しかった喜界島の旅もこれにておしまいです。

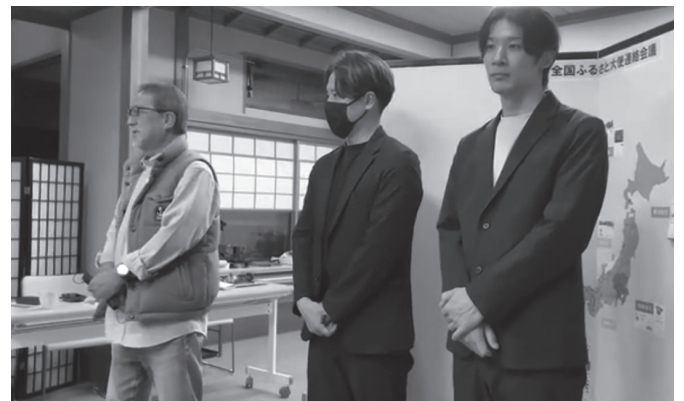
私の大好きな喜界島の魅力が伝わりましたでしょうか？コンビニサイズの小さな空港から始まった旅でしたが、今回紹介した所はほんの一部です。

まだまだ紹介し切れていない場所が沢山あります。

是非、実際に足を運んで頂き、五感で喜界島を感じて見て下さい！

本日はこの様な素晴らしい場を設けて下さった役員の皆様、本当にありがとうございました！つたない紹介ではありましたがこれで喜界島の紹介を終わりにします。

最後までご清聴頂き、ありがとうございました！



プレゼンにご協力いただいたご主人とご子息

喜界島大使館館長 友岡 照美



## 全国の方に知ってほしい、魅力いっぱい新潟県

新潟県ふるさと大使委嘱者「越後ふるさと大使」応援団、新潟県長岡市在住の大場いぶきと申します。

私は祖母が戦後に立ち上げ、今年で創立77年を迎える「石川綾子バレエスタジオ」を運営しています。20歳から講師として未就学児から60代の幅広い方々にバレエやモダンダンスを教えてきました。新型コロナウイルス感染症の流行で、イベントや発表会が激減し、一生懸命、練習を重ねてきた方々の発表の場が減ってしまったことで、「このままでは人が輝く場がなくなってしまう」と危機感を抱きました。

そこで、2019年11月に立ち上げたのがNDSP（Nagaoka Dance Song Promotion）です。新潟市や長岡市でダンスイベントを実施、児童養護施設でクリスマスイベントを企画するなど、様々な方が輝ける場を作ってきました。

昨年10月に行われました「第26回 ふるさと大使全国大会2022」、今年4月に東京・小石川後楽園 涵徳亭での「陽春交流会」では、日本三大花火の一つに数えられる長岡大花火大会の見どころの一つ「復興と感謝のシンボル 復興祈願花火フェニックス」の映像に合わせて子どもたちがダンスする映像や世界遺産登録に向けて活動を続ける佐渡金山の歴史動画をご覧いただきました。また、共に活動する歌手・アッピールが本市を代表する民謡「長岡甚句」を披露させていただきました。ご覧くださいました皆さま、ありがとうございました。

この度は、全国の方に知っていただきたい、夏の新潟県の魅力を紹介させていただきたいと思います。

新潟県には「越後三大花火」という3つの大きな花火大会があります。その中でも、全国三大花火といわれているのが、毎年8月2日、3日に行われ、100万人以上の方々にご覧いただいている「長岡大花火大会」です。

長岡花火の歴史は古く、天保11年（1840年）にさかのぼります。長岡藩10代藩主牧野忠雅さまに川越移住の命が下りましたが、翌年それが中止（沙汰やみ）になったことを祝って「合図」を打ち上げたのがその発祥と伝えられています。

その後、玉の大きさも尺玉、尺二寸玉の大玉、仕掛け花火が出現し、本格的な花火大会へと発展。大正末期から昭和初期にかけては長岡花火の一大発展期で、全国的



大場さんのプレゼン風景

にも広く知られるようになりました。しかし、昭和12年（1937年）を境に時局は急速に戦争へと傾き、翌年には花火大会も中止となりました。昭和20年（1945年）8月1日、長岡が空襲され旧市街地の8割が焦土となりました。その後の戦後復旧の懸命な努力の結果、昭和26年（1951年）には、長岡大花火大会の名物である正三尺玉の打ち上げが復活しました。

平成16年（2004年）10月は、新潟県中越地域に甚大な被害をもたらした「新潟県中越大震災」が発生。その復旧を願い、翌年の平成17年（2005年）8月2日より「復興祈願花火フェニックス」も打ち上げられるようになりました。

さまざまな歴史を経て継続された長岡花火には、戦争の犠牲者への慰霊、戦後の復旧に尽力した先人への感謝、恒久平和への願いが込められています。

なお、「越後三大花火」には、雄大な信濃川を舞台に繰り広げられる「長岡大花火大会」のほか、鮮やかな色彩が大海原を染める「ぎおん柏崎まつり海の大花火大会」、世界一の正四尺玉が打ち上げられる「片貝まつり浅原神社秋季例大祭」があります。ぜひご覧ください。

全国の大使の方々の良いアイデアを勉強させていただき、新潟の皆さまの「かがやく場」を作り、新潟の活性化につなげていきたいです。

「越後ふるさと大使」応援団 **大場 いぶき**

全国ふるさと大使連絡会議

2022年度収支報告書

2022年04月01日から2023年03月31日まで

2023年度収支予算案

2023年04月01日から2024年03月31日まで

(金額単位：円)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	161,502	かわら版制作費	341,000
会費収入 前年度分	0	通信費	9,240
今年度分	376,000	郵送費	58,744
全国大会	367,500	事務費	9,847
雑収入	5,251	事務所費	7,210
		全国大会費用	362,249
		(経費支出小計)	788,290
		次期繰越金	121,963
収入の部合計	910,253	支出の部合計	910,253

(金額単位：円)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	121,963	かわら版制作費	350,000
会費収入 前年度分		通信費	40,000
今年度分	500,000	郵送費	40,000
翌年度分		事務費	10,000
全国大会会費収入	500,000	事務所費	36,000
会員交流会会費収入	364,000	全国大会費用	500,000
		会員交流会費用	400,000
		(経費支出小計)	1,376,000
		次期繰越金	109,963
収入の部合計	1,485,963	支出の部合計	1,485,963

2022年度の収支報告の内容を帳簿並びに証拠書類と照合精査し、妥当かつ正当なることを認めます。

2023年5月15日 監事 古川 文久

令和4年度  
(2022年4月～2023年3月)

活動報告



概況：令和4年度は、コロナ禍の動向を勘案しながらゴーアンドストップなど試行錯誤的な観光振興政策が行われた。そこで、ウィズコロナ・ポストコロナ時代の地域おこしに資するような新しい動きや各地の話題などについて、かわら版、HPなどで情報提供に努めた。

また、コロナ禍の第7波が収まってきた10月に感染対策に十分に配慮したうえで、全国大会を開催し、講演者、プレゼンターからコロナ後に向けて元気の出る話を伺った。

①かわら版の発行（102号～105号）によるポストコロナ時代を見据えた情報発信

②HPによるタイムリーな情報発信

③全国大会の開催

10月20日（木）に平河町のルポール麹町で開催し、木村俊昭東京農大教授から「地域を変えるチカラとは何か」と題してご自身の小樽市での体験を踏まえた実践的な話、扇谷ちさとドリーム夜さ来い祭りグローバル振興財団理事長から「ドリーム夜さ来い祭り」の世界展開にいたるまでの話を聞き、その後、懇親交流が行われた。

④会員の増加（順次かわら版で紹介し、地域おこしへの熱い思いを語っていただいた。）

令和5年度  
(2023年4月～2024年3月)

活動方針

概況：コロナ禍時代の行動規制が廃止され、マスク着用も個人の選択に委ねられるようになるなど本格的なポストコロナ時代に入ったので、コロナ以前の従前の活動をベースに新たに創意工夫を凝らして、地域おこしに関する情報提供、情報交換に務めるとともに、交流懇親に努める。

①かわら版による地域おこしに関する新しい動向などの情報提供

②HPによるタイムリーな情報提供、フレンドリーな入会案内

③全国大会の開催

10月16日（月）17時～ 平河町のルポール麹町  
コロナ後の新しい時代の地域おこしについての講演と懇親交流

④交流会の開催

4月14日（金）17時～ 小石川後楽園の涵徳亭

⑤地域ツアーなどの検討

⑥全国ふるさと大使一覧表の更新

⑦会員募集





# 旅を詠む (十)

歌詠み人

ただに  
**鈴木君子の旅紀行**



## 『アウシュビッツII』

明日という確約のなき若き母ら  
 ゲッターに子をかき抱きしや

「青い空が全部紙でも苦しみは  
 書き尽くせない」少年の手記

三つ編みは三つ編みのまま刈られたる  
 金髪の子の無念は褪せず

人の脂に成りたる固形石鹸の  
 乳いろ若くわが前にあり

山のように積み重ねられた金髪の中には少女自身が編んだものか、その母親の手になったものかは判らないが、髪の前で切られたままのものなどが悲しいまでも累々と積まれている。

刈られたる髪もて織られしフェルトに  
 幾千万の毛先立ちいる  
 生きてあれば歓声を上げ野を街を  
 走らん子らの靴は山なす

親も子もどんなにか悲しく苦しい日々であったであろう。とても今の社会状況ではその苦しみの傍にも寄れないと思うが、これこそが現実であったことは紛れもない事実である。

母は子を抱きてガス室へ歩みゆく  
 真裸の列 白き実相風景(ジオラマ)

ガス室に息絶ゆるまでの十分の  
 その苦悩の声われに迫り来

風呂へ入るからと裸にされた人たちが誘導されて押し込められた部屋は、風呂ではなく殺人室だった。

天井の穴からチクロンBが投入され、人らは確実に殺された。

ガス室に入って十分位の出来事である。

殺戮者の眼なりしやガス室の  
 毒ガス放出の天井の穴

## 全国大会 2023の ご案内

日時：10月16日(月) 17時～21時

場所：ルポール麴町 2階 ロイヤルクリスタル

〒102-0093 千代田区平河町2-4-3 tel 03-3265-5361

有楽町線『麴町駅』より徒歩3分 半蔵門線、有楽町線「永田町」より徒歩5分

テーマ：「コロナ後の新しい時代の地域おこし」

会費：8,000円

ご参加をお待ちしています。

## ◆新会員のひと言◆

テラファームジャパン株式会社 代表取締役 小川 浩史

皆様はじめまして。千波理事のご紹介で加入させていただきました。神戸市出身ですが、現在青森県八戸市でにんにく、黒にんにく、りんごを生産しています。青森に入って8年です。

これまで、大学卒業後、日本語教師としてブラジルアマゾンへ赴任。その間、国際NGO団体の創業、スラム街にJICA、外務省の支援を受けながら学校建設、環境植林。日本帰国後はファウンダーとして新規投資先の発掘営業で、韓国、香港が仕事場でした。

50歳になってから、新規就農の準備で、埼玉の農業大学校と農業塾で2年間学び、卒業証を片手に青森八戸に入りました。

はじめは、スーパーフード、にんにくを生産するために、畑の確保、土壌改良、農機具、倉庫、冷蔵庫、そしてアウエー地域での日雇いさんの人集め、出荷販売のための仕組化、さまざま経験、失敗を繰り返しながら無我夢中でした。

大きいにんにく、形のいいにんにく、味のいいにんにくを

つくるために今も試行錯誤中です。

人口減少は、生鮮食品の物流、卸、小売り業界に影響を及ぼします。これまで生産者は何も考えずに最寄りの農協や市場へ出荷するだけでした。

しかし、肥料、燃料が2倍近く高騰しているのに、地元出荷への価格は、10年前と変わっていません。失われた30年は、そのまま農業経済も低迷したままです。

ですから、若い後継者候補さんたちは、不安がなく、引き継がないで断念。現在の70歳代、80歳代の世代で閉じてしまうという雪崩現象がおきています。

種、生産、出荷、販売、営業活動領域でさまざまな戦略、戦術がありますが、できることからコツコツ取り組んでいます。

同じ本州でも青森県の気候は素晴らしく、糖度の高い野菜・果物が生産されています。季節のめぐりはあつという間です。

今後、何かの機会に旬の野菜・果物のご案内ができればと思います。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## 小石川後樂園を含む大名庭園を 世界遺産に（その1）

小石川後樂園庭園保存会 理事長 **本多忠夫**（本会副代表）

会員の皆様、この新型コロナ禍の3年半をどうお過ごしでしたか。そんな日々、ふるさとを思い、懐かしく若かりし子供時代に思いはせて一時を過ごしてきた人も多かったことでしょう。ふるさとは都会と違って自然が満ちあふれ、自然のなかで友達や兄弟姉妹そして父や母等と仲良くのびのびと遊んだ記憶を思い出され、また、近所の皆さんの人情味豊かなふれあいを思い起こして、その人たちの安否を気にかけておられた人も多かったことでしょう。と勝手に想像しています。

ふるさとはほとんど学生時代に東京等大都会に来て、勉学に勤しみ、そのまま都会の中に職場を見つけて結婚し、そのまま東京お住まいとなった方々が多いと認識しています。しかし、すっかり東京人になっても東京のことをあまり知らない人が多いようです。従って、その子供が東京で生まれれば東京が「ふるさと」となるわけですが、両親が東京のことをあまり知らないのですから子供も当然知りません。

東京では、学校でも特別ふるさと教育はしてきませんでした。要するに地方から東京に来た人たちが、出てきた地方を「ふるさと」としてきたからです。「ふるさと」の概念を根本から考えれば、ある人が「生まれ育ってきた土地」を「ふるさと」と規定すれば、当然、東京も立派なふるさとなのです。

私は東京で生まれ育ってきた者ですから、昔は、私にはふるさとはないといった意識に駆られてきたのですが、今では胸張って東京がふるさとであると言い切れるようになりました。しかし、先にふれたように東京では

ふるさと教育がなされて来ませんでした。どんな良い文化財が身近にあっても、郷土の誇れる文化財として教えてこなかったのです。勿論、東京はふるさとといっても大都会で、多くの人々が地方から移り住んできた人々が生活している場ですから、近くの人々を同じ郷土人というとらえ方は出来なかったことも事実ですので、やむを得ない面があります。しかし、やはり東京にもすばらしい文化財が多くあります。子供にとって「ふるさと」である東京を、もっと積極的に探索してください。

前置きが長過ぎましたが、表題の「**小石川後樂園を含む大名庭園を世界遺産に**」の件で、しばらく連載させていただきますので宜しくお願いいたします。

皆さん、東京都に小石川後樂園というすばらしい庭園があることをご存じですか。京都の金閣寺や桂離宮、修学院離宮のお庭、或いは竜安寺の石庭については誰でも知っているのに東京都文京区にある小石川後樂園を知っている人は意外と少ないのです。

本庭園は特別史跡・特別名勝の二つの冠を持っている重要文化財で国宝級のお庭です。全国でこの二つの指定を得ているのは九つしかありません。それほど名園でありながら、東京に長くお住まいの人でも知らない人が多いのです。何故でしょうか。勿論、諸説ありますが、先にふれた通り、東京人といっても東京をふるさとと感じている人が少なく、且つ、両親が地方の出身で東京のことをあまり知らない人が多く、学校でもふるさと教育をしてこなかったことも一因ですが、ここでは、もう一つだけを掲げておきます。

明治維新という名の薩長連合による革命によって、旧体制に関わる一切が破壊され、新体制樹立に全力で取り組んで来たため、日本文化とは何かとか振り返る暇もなく、徳川時代という江戸時代及び文化を含め全てを否定し、破壊し尽くしてきたからです。

江戸にあった1,000に近い大名屋敷は邸宅と庭園を含め全て新政府に返上され、そのほとんどが、ことごとく破壊されて新しい用途に利用されてきました。よって、東京は世界も目を見張る勢いで近代化を達成することが出来た事も事実ですが、多くの日本文化も失われてきたのも事実です。



後楽園は水戸藩邸内に作られた庭園ですが、奇跡的に破壊は逃れられ、現在に当時の面影を色濃く残している数少ない名園なのです。言い換えれば、当時を偲ぶに十分な雄姿を今に止めていると言われてます。

いずれにしても一旦訪れてみると皆さん様に驚きます。こんな大都会にこのようなすばらしい自然があることに、びっくりするのです。そうです、正にそこには大自然が横たわっているのです。それこそが大名庭園の魅力なのです。人が人の手によって大自然を作り出したのです。本来、何の変哲のない平坦な土地であり、雑木林や沼地を作り替えて大自然を作り出したのです。遠くの緑豊かな大自然とうまく溶け合うような景観を蘇らせたのです。大自然との一体化があくまで日本文化の原点なのです。自然現象や自然形態そのものを神として崇め、祀ってきたのです。自然は決して逆らうことの出来ない唯一の存在として崇めてきたのです。

一方、西洋では緑少ない岩石地帯の岩石を正方形なり長方形の平らな石材として加工し、それを幾何学模様を主にして敷き詰め、真っ平らな広い空間を作りだし、中央には、やはり正方形なり長方形或いは円形の池を作り、自然に逆らって噴水を設けた庭園を造り、また、天に届かんとばかりの石造による宮殿をそびえさせ、国王の権力を見せつけました。

大自然をあたかも人が征服したかのような人工色で埋め尽くすという庭園を造り出していたのです。自然は人の手によって変えられるものであると思ひ込んできたのです。従って、人を治めた国王は神となって統治してきたのですが、日本の場合、天皇は神ではなく、神と交信できる唯一の人として位置づけられてきました。どちらが正しいというわけではありません。まさに文化の違いです。そうした異文化を感じ取れるのが庭園なのです。西洋に見られる庭園の姿は上述した通りですが、日本の場合、特に江戸時代の初期に作り出した大名庭園にその思いが込められています。広い水面や高い樹木、大きな岩石に神は降臨し、人々と交信したと昔から言い伝えられており、これらをうまく取り入れて、大海原や湖を模した池(大泉水)或いは緑深き大森林に覆われた大山を模したような築山を設けてきました。

小石川後楽園は江戸時代の初期に、沼地であった土地を作り変えて大名庭園として作られ、その後の大名庭園の手本とされてきた庭園なのです。次回以降この後楽園のすばらしさや特徴を紹介するとともに、後楽園を含む全国10箇所の大名庭園を行政と協働して守って行こうとする民間団体が組織している大名庭園民間交流協議会を紹介し、こぞって世界遺産にしようとしている事をお伝えしたいと思っておりますので、楽しみにしてください。

## ◆新会員のひと言◆

テイチクエンタテインメント 歌手  
上野 さゆり

盆・暮れ・正月の時期になると---父のふるさとを思い出します。

幼少期(3歳頃)からずっと父のふるさとが自分の故郷と感じていた時代がありました。

なぜかと申しますと次のような思い出があるからです。

父の故郷は茨城県の岩瀬町(現・桜川市)で、当時住んでいた埼玉県鷺宮町(現・久喜市)から父の車の運転で夕方から夜にかけて移動するのです。母と妹と私の4人家族です。

父には戦死をした兄がおりまして、よくその当時の話もしてくれました。

父の故郷の家は、カヤブキ屋根の家でした。よく日本昔話に出て来るあの家です。

妹と私は、眠い目をこすりながら、その車に乗り込んで、いつも田舎までの道のりを楽しみながら向かいました。

いつもおじいちゃん、おばあちゃん、親せきの家族と会えるのも楽しみでした。

茨城県(岩瀬町)の本家(ほんけ)の駐車場に入る前の自宅に繋がる道に、いつも緊張して通過する箇所がありました。その道は最寄りの鴨鳥(カモトリ)神社の鳥居につながる一本道の入口に通じる細い道で、車一台がようやく通れる道幅



ギリギリのところに2本のコンクリートの目印がありました。

子供心に2本のコンクリートは関門のように見え、毎回、この箇所に近づくと「今日も無事通過できますように---」と祈ったものでした。そんな家族の車がぶつからないようにという願いをよそに、父はスナリと通過していき、「やっぱりお父さんは車の運転が上手なんだな」と実感するのでした。

また、ひと昔前の話ですので、田んぼのあぜ道に段差があり、舗装されていない砂利道を運転して車が進むため、乗っている私達も砂利道や泥道や段差を感じ、そんな時代の運転はタンヘンだったんだろうなと感じる近年です。

父の家の庭先から見える景色は、大きな山と田園(田んぼ)、井戸、茅ぶき屋根そして栗の木です。山に囲まれた空気のおいしい街です。

父も子供の頃は、田畑の手伝いや山羊の乳をしぼったり、マキを割って五右衛門風呂にくべることなどしていたそうです。

この父の故郷の岩瀬町(現・桜川市)の風景は、高野公男先生(茨城出身)作詞、船村徹先生作曲の「別れの一本杉」の中に表現され、春日八郎さんの美声で大ヒットしましたが、私は、この歌を子守歌代わりに口ずさんでおりました。

その後の話は、皆様とお会いしました時にお話したいと思っております。是非、ふるさとの会が大きくなっていくことを願っております。

また、歌手の一人として全国のふるさとが音楽の力で元気になっていくように願っています。

事務局より

かわら版をもっと活用する方法を理事会で打ち合わせています。

健康長寿の地域を取り上げて、食や運動面で、何を食べて、どういう日常を送ったら、健康長寿になっているかを皆様のふるさとへの参考にし

て頂くような情報発信をと提案しました。

皆様に大いに賛同して頂きました。

この提案に対して、別の提案が出てきました。

各地の移住関係の取り組みを紹介するのもよいのではと…

いろいろな地域の移住に対する取り組みをかわら版で紹介させて頂けば、ふるさとへの移住のきっかけ創りができると考えて、行動に移しました。

認定NPO法人ふるさと回帰支援センターに伺い、かわら版掲載のご提案を申し上げましたら、快く応じて頂き、大変ありがたいことに、理事長の高橋 公様にご面談をいただきました。

その記事については、次号のかわら版秋季号(10月発行)に掲載をさせていただきます。

コロナ後は地方の時代と言います。その地方の時代を先取りして、ふるさと回帰の大きなチャンスではないでしょうか。

有楽町交通会館8階に全国44都道府県1政令市の、皆様のふるさとのブースがあります。

各県の相談員もおられ、お話を聞く事ができます。

ふるさとを元気にしたいおもいを共有させて頂けると感じています。

事務局長 甲斐功一



全国ふるさと大使連絡会議の概要

- 設立年月 1996年8月8日
- 目的 各地において制度化され、委嘱されている「ふるさと大使」および「委嘱者」相互の情報交換・交流・連携を図り、全国のふるさと・地域の活性化に貢献することを目的とし、その達成のために各種の事業を行うものとする
- 会員の資格
  - ①ふるさと大使
  - ②ふるさと大使委嘱団体関係者
  - ③ふるさとを愛する人々等
- 会費 所定の会費(3,000円以上、団体会員は10,000円)もしくは相応の貢献寄与をしなければならない

2021年3月末現在の会員構成

大使会員	113名
団体会員	11団体
一般会員	155名
合計	279名

確認された大使制度

(2019年10月現在)

県知事が委嘱	44団体	90制度
市長村長が委嘱	630団体	731制度
諸団体等の長が委嘱	147団体	150制度
合計	821団体	971制度

年会費納入のお願い

個人会員—3,000円 特別会員—5,000円 団体会員—10,000円

以下の方法でご送金賜りますようお願い申し上げます。

\*郵便振込み 店名 038 普通 7211051 口座名 全国ふるさと大使連絡会議

\*銀行振込み 三菱UFJ銀行 亀戸支店 普通 0173146

口座名 全国ふるさと大使連絡会議

\*郵便振替 口座番号 00190-7-149658 口座名 全国ふるさと大使連絡会議

(注) 多くの方に郵便振替でお振込みを頂いていますが昨年1月17日の料金改定で、現金での手続きですと振込料に110円加算されます。郵貯口座での振り込みなら加算されません。郵貯のATMから手続きできますのでご活用いただきますようお願い申し上げます。

編集後記

植物学の牧野富太郎博士の「花に恋して90年」の生涯を描いたNHKの朝の連続ドラマ「らんまん」が好評を博しています。

そこで、今号では高知県理事・東京事務所長の前田和彦様から『らんまん』のモデル“牧野富太郎”博士の生涯とふるさと高知」と題して、その生涯のアウトラインと縁のある施設について紹介していただきました。

首都圏にも縁のある施設がありますので、興味のある方は、是非それらの施設を訪れてみては如何でしょうか。

また、恒例の「旅を詠む」では鉦谷君子様より「アウシュビッツその2」の短歌をいただきました。

広島G7サミットがゼレンスキー・ウクライナ大統領のサプライズ出席など多くの話題を残して終了しました。その後、イギリスのスナク首相の広島焼を作る動画がSNSで公開され、お好み焼きは、具材を混ぜ込み焼き上げる大阪風か具材を積み上げる多段式の広島風かといった「お好み焼き論争」が話題になったのも記憶に新しいところです。

お好み焼きの話はさておき、スナク首相をはじめサミットに集った各国首脳は広島平和記念資料館も視察していますので、鉦谷さんがアウシュビッツで感じ、歌に詠んだような思いも共有したでしょうか。

今号では、4月の陽春交流会の様子を報告させていただきました。また、プレゼンいただいた友岡照美様、大場いぶき様より、その内容を文章にさせていただきました。

また、その陽春交流会を契機に新たに会員となられた小川浩史様、上野さゆり様から、「新会員のひと言」をいただきました。

長年にわたり本会に貢献いただいた山下晋彦理事が2月に逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

ふるさと大使かわら版 2023年7月12日—令和5年夏季号— (通巻107号)

◇発行：全国ふるさと大使連絡会議 (代表=平谷英明) ◇編集責任者：平谷 英明

◇事務局：〒136-0071 東京都江東区亀戸7-65-20 全国ふるさと大使連絡会議

TEL：03-3684-0488 FAX：03-3684-6800 Email：furusatotaishi@gotochi.biz

URL http://www.furusatotaishi.com

